

有縁の皆さんでお読み下さい

サンガとは、お浄土に向かって生きることをよろこぶ、お念仏の仲間のことです

あなたの「生きる」を支えるお寺

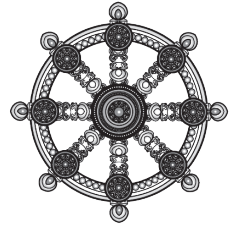
毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

お寺のかわら版

じゆんしょうじほう

純正寺報

青色青光 No.353



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵 (漢見覚恵)

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス :purity.temple.since1499@gmail.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

親鸞聖人報恩講

(得度奉告法要)

◎十月十日(金)

○午後二時 前日準備

本堂内外の清掃、仏具のお磨き、内陣荘厳など。

◎十月十一日(土)

○午前十時 得度奉告法要『正信偈和讃』

この度得度いたしました、住職の長女・長男の得度のご報告とご披露をいたします。

○午後一時半 大速夜法要『奉讃大師作法』

親鸞聖人のお勧めに、心静かにお聴聞。

○午後六時 子ども報恩講『正信偈』

小中学生のお子さんにも、お念仏が聞こえるいのちを生きるよろこびを。

◎十月十一日(日)

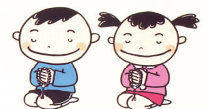
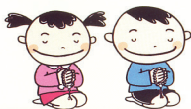
○午前十時 満日中法要『奉讃大師作法』

如来大悲の恩徳に、いのち一杯のご報謝を。

法話 釈 宣寿 師



こんき常例報恩講



10月29日(水)

お勤め 正信念仏偈作法

10:00~12:00 13:30~15:30

ご法話 教勝寺 藤田 朋之 師

住職法話

われかくのごとくきく
我聞如星

千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

〜久しぶりに参拝は、総代さんと一緒に〜

毎年九月十八日は、東京都千代田区の千鳥ヶ淵にある戦没者墓苑で、浄土真宗本願寺派主催の「全戦没者追悼法要」が営まれます。

四十五回目になります。コロナ禍で、しばらくお参りしていませんでしたが、久しぶりにお参りのご縁をいただきました。

この法要は、一九三一年（昭和六年）、中国東北部で満州鉄道が爆破された「柳条湖事件」が起きた九月十八日に、二度と戦争を起さないと誓う、非戦平和を願う法要です。今年で

しかも、これまではいつも一人で参拝していましたが、今回は純正寺のご門徒お二人と共に。ご一緒くださったのは、共に門徒推進員で門徒会の副会長で門徒総代の、証護さんと釋見諦さんです。証護さんは三回目、見諦さんは初めての千鳥ヶ淵への参拝です。



築地本願寺の全景に、2人が「極小」

当日は、朝六時からの純正寺本堂での「常朝事」にお二人ともご参拝され、その後米原駅から新幹線に乗って東京へ。午前中の目的は、築地本願寺でした。インド建築風のモダンな本



平日の法要に、年配の参拝者が多い

堂に入ると、冷房がよく効いていて涼しく、お香の香りがとても心地よいので、日本人だけでなく外国の人たちも沢山お参りでした。

築地の場外市場で昼食を済ませ、地下鉄を乗り継いで九段下へ。歩いて十分で会場に到着しました。会場には、全国各地から僧侶・

門徒が沢山お参りに来られていました。国会議員も沢山参拝されていて、私のすぐ前には、元オリンピック選手でスピードスケートの選手で参議院議員の、橋本聖子さ

んもお参りでした。

法要は、初めに宗門関係学校の女子中高生の二人が書かれた、平和についての最優秀作文の朗読と表彰がありました。とても素晴らしい作文でした（次ページ以降に全文を掲載します）。

その後、表彰された女子生徒二人が「平和の鐘」を鳴らされ、続いて雅楽が演奏される中、導師を勤める僧侶たちが入場。汗で僧侶の衣の色が変わるほどの暑さの中、参拝者全員で声高らかに正信念仏偈と和讃をお勤めいたしました。

今年は、戦後八十年の年。これは八十年間、日本では戦争は起きていないということ。今後も「戦後百年」「戦後二百年」と言える日本であり続けたいと思うと共に、世界で起きている戦争の一日でも早い終結を心より願うばかりです。

戦争のない世界へ

国府台女子学院中学部一年 山本 麗菜

私には今年百歳になった曾祖母がいる。曾祖母は時折戦争の話をする。曾祖母には兄がいたが、戦地へ赴きそのまま帰らなかったそうだ。曾祖母はもしかしたら、今もどこかで兄は生きていられるかもしれない、生きていてほしいと願っているようだ。戦争の話をする曾祖母はとても悲しそうで、つらそうにみえる。きっと世界中の戦争体験者も同じだろうと私は思う。このように悲しみしか生まない戦争をなぜ人間はするのだろうか。

「思いやり」という言葉を辞書で調べてみた。「相手の気持ちになって考えること」とある。自分以外の人の立場になって物事を考え、気遣うことができれば、他人の痛み、悲しみ、苦しみを自分の事のようにとらえる事ができる。世界中の人が思いやりをもてばきっと戦争はなくなる。なくなっしてほしいと私は思う。

日本は今年戦後八十年を迎える。日本の戦争体験者は

年々減少している。これは、日本が戦争をしていない証であるが、戦争体験者の話を聞く機会が減少しているという事でもある。戦争の悲惨さや、平和の大切さを後世に伝える事も戦争を未然に防ぐ為にはとても大切なことだと思う。私達戦争未経験者が戦争の愚かさを理解し、同じ過ちを繰り返さない為にも戦争を他人事として捉えるのではなく、現実に取り得る事として考え、家族や友人と戦争のない平和な世の中について日々話をする事も大切だろう。

曾祖母は百歳を過ぎ認知症になった。私の事も分からないらしい。しかし戦争の事は、覚えている。戦後八十年経ってもいえない心の傷を負わせるのが戦争である。曾祖母と同じ心の傷を負う人を増やしてはいけない。増やさない事が私達の使命だと思う。その為に何ができるのか、何をすべきなのかを日々考え行動したい。そして日本の平和、世界の平和の為に「思いやり」の気持ちを持って生きていこうと思う。

(宗門関係学校生徒作文「中学生の部」最優秀作文)

生きた証

相愛高等学校三年 木津 喜乃

私は先日、大阪・関西万博を訪れた。そこで目にしたのは、写真から3Dモデル技術によって復元された被爆者の懐中時計で、今も深く心に残っている。時計の針は原子爆弾が炸裂したまさにその瞬間を指したまま静止していた。文字盤には焦げ跡やヒビ、普段から使い込んでいたことが見てとれる細かな擦れ跡までがしっかりと刻みこまれていたのだ。これはあくまで再現モデルで、実物を見たわけではない。それでも私の心に深く残っているのは、持ち主が懐中時計と共に人生を歩んできたということが、容易に想像できたからだ。「一つの人生」が確かに目の前に存在していたのだ。

この展示に、生きた証が残るといふことの重大さに気づかされた。被爆者や戦死者のなかには、手がかりも記憶も奪われてしまった人が大勢いる。その遺族の心情は想像を絶するものだろう。だからこそ、遺された人が過去と向き合う手助けをするために、このような技術が開発されたの

ではないかと感じた。

しかしそれは、簡単に感心するだけで済ませてはならない。

戦争は無差別に命を奪っていく。年齢も性別も過去も未来も関係なく、その全てを奪っていく残酷なものだ。誰もが望んでいないはず。それなのに、未だ過去の話ではなく今も世界で繰り返されている。

そんな今を生きているからこそ、私たちは命の大切さを忘れてはならない。一番身近であり、だからこそ常に意識することは難しい自分自身の「命」の存在。それを今一度見つめ直し、未来へ繋いでいく必要があるのだ。

戦争の遺物が語るのは悲しみだけではない。そこには生きた証があり、「命」が刻まれている。そしてその「命」は決して絶やしてはならない。ひたむきに平和を守ろうと生き、幾千の「命」と共に歩んでいくこそが、今を生きる私たちの使命である。「命」が当初の肉体を失ってから何年の月日が経っても、私自身のなかで彼らの「命」を生き続けさせたい。

(宗門関係学校生徒作文「高校生の部」最優秀作文)

1回でも多く、私の「生死出づべき道」をお聴聞いたしましょう。

2025(令和7)年度 彦根組内寺院「報恩講」日程 並びに 講師名 一覧

(令和7年9月7日現在)

寺院名	町名	一日目	日中	逮夜	二日目	日中	逮夜	三日目	日中	逮夜	講師名	備考
教道寺	平田町	10月5日	10時								未定	
常楽寺	安清町	10月11日	10時半	13時半							野瀬 善隆師	法話は午前のみ
純正寺	佐和町	10月11日		13時半	10月12日	10時					釈 宣寿師	
妙嚴寺	西今町	10月11日		13時半	10月12日	10時					本多 深諦師	
真成寺	平田町	10月12日		14時	10月13日	10時					善利潤英師 守 快信師	法話 12日 善利師 " 13日 守 師 ※13日は「住職継職 奉告法要」を兼ねる
光明寺	西沼波町	10月13日	10時	13時半							佐々木 恵精師	
最勝寺	芹町	10月16日		13時半	10月17日	10時	13時半	10月18日	9時半		寺西 実円師	
松原寺	松原	10月18日	10時	13時半							祖父江 佳乃師 片岡 慶正師	法話 午前 祖父江師 " 午後 片岡師
龍泉寺	中藪町	10月18日	10時	13時半							山崎 弘純師	
得法寺	平田町	10月19日		13時半	10月20日	10時					漢見 覚恵師	
一妙寺	平田町	10月24日		13時半							なし	※内勤め
明専寺	後三条町	10月25日		14時	10月26日	10時					漢見 覚恵師	
圓鏡寺	野田山町	10月26日	10時	13時半							西郷 教信師	
清徳寺	野瀬町	10月27日	10時	14時	10月28日	10時	14時				野瀬 善隆師	※内勤め
教禅寺	長曾根町	10月28日		13時半	10月29日	10時	13時半				佐々木 義英師	
西福寺	大藪町	11月1日	10時	13時半							田中 諦康師	
願乗寺	錦町	11月1日		13時半	11月2日	10時					森 直道師	
光桂寺	西今町	11月1日		13時半	11月2日	10時					西郷 教信師	
真楽寺	宇尾町	11月2日	10時	14時							石原 教人師	
福善寺	野田山町	11月2日	10時								八木 晃隆師	
光照寺	東沼波町	11月3日		14時	11月4日	10時	13時半	11月5日	10時		藤浪 正明師	
明照寺	平田町	11月8日	10時	13時半							朝枝 實成師	
明性寺	本町	11月8日		13時半	11月9日		13時半				榮 俊英師	
円照寺	高宮町	11月14日		13時半	11月15日	10時	13時半	11月16日	10時		本多 深諦師	
證大寺	大藪町	11月15日		13時半	11月16日	10時	13時半				三明 大慶師	
即成寺	竹ヶ鼻町	11月16日	10時	13時半							藤浪 正明師	
円満寺	正法寺町	11月20日	10時	13時							なし	※内勤め
勝満寺	地蔵町	11月22日		13時半	11月23日	10時	13時半				美馬 ひろみ師	
善照寺	本町	11月29日		13時半							佐々木 瑞雲師	
唯稱寺	大堀町	11月30日	10時	13時半							真野 順之師	
勝泉寺	小泉町	未定										



10月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を越えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



今月のエコキャップ一、七〇六、九五八個

ようやく少し暑さも緩んできました。でも、気持ちが緩むと夏の疲れが一気に吹き出すかも。今月も、二〇〇〇個のキャップをお預かりいたしました。

キッズサンガ「ほとけの子ども会」

11日(土)
18:00~19:30

就学前・小・中学生対象

今月のほとけの子ども会は、「子ども報恩講」へのお参りです。お勤め・お話・ビンゴゲームがあります。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

5日(日)
16:00~18:00

小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。休憩時には、おやつもあり。

みんなの食堂ビハーラ

8日(水)・22日(水)
17:00~19:00

年齢・性別は問いません

子どもからお年寄りまで、誰でも参加できる楽しい食事と学習の時間。事前にお申し込みください。

世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

12日(日)
18:00~20:00

年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

14日(火)・21日(火)・28日(火)
10:20~11:30

年齢・性別は問いません

お香とオルゴールの音色の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかな身体と心を作りましょう。

「月例法話座談会」

21日(火)
14:00~16:00

年齢・性別は問いません

日常の「何故？」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

親鸞様ご命日お取越し「報恩講」

11日(土)~12日(日)
年齢・性別は問いません

私たちのご先祖や真宗門徒の先輩が大切に伝えてこられた、宗祖親鸞聖人のご命日のご縁。ご法話は、大津市尾花川長泉寺の釈 宣寿師です。

みんな法友こんき報恩講

29日(水)
10:00~12:00.13:30~15:30

年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えた気楽なご法座です。法話は、東近江市教勝寺の藤田朋之師です。

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:50
年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。Facebookでライブ配信もしています。

住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません

生きることが辛くなる前に、早めに気軽にご相談下さい。

相談予約専用電話番号は、

090-7874-2849

相談予約専用メールアドレスは
namo-yorozu@docomo.ne.jp

純正寺の法要は「YouTube」で、常朝事は「facebooklive」で、それぞれ生配信でも録画でもご参拝・お聴聞していただけます。上記のQR(二次元)コードを、スマホのQRコードリーダーで読み込んでください。



YouTube 純正寺チャンネル



LINE 純正寺公式アカウント



純正寺公式ホームページ



facebook 常朝事チャンネル